

## 令和5年度 日置市教育委員会定例会(12月)

- 日 時：令和5年12月20日（水） 午後4時00分～午後5時00分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3（3階）
- 出席者：奥教育長  
委 員：内村委員・中島委員・鶴木委員・福田委員  
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)  
前村(社会教育課長補佐)・迫田(日吉支所教育振興課長)  
山下(吹上支所教育振興課長)・宮前(教育総務課長補佐)

### 1. 開会

奥教育長： 日置市教育委員会12月の定例会を始めます。

### 2. 前回議事録の承認

奥教育長： 前回11月の議事録の承認をお願いいたします。変更・修正等はございませんか。  
(特になし)  
よろしかったでしょうか。  
(異議なし)  
それでは、11月の議事録は承認とさせていただきます。

#### 【前回の議事録承認】

署名・押印は、内村委員と福田委員をお願いいたします。

### 3. 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： 私は前回の定例会以降、出会した行事等はございませんでした。以上です。

奥教育長： ありがとうございます。鶴木委員、お願いいたします。

鶴木委員： それでは報告させていただきます。

11月25日に日置地区生涯学習推進大会に出席しました。大会の進行役は、夏休みに市の海外派遣事業でアメリカを訪問した伊集

院高校と鶴丸高校の2人の生徒が務めました。

初めに、地区の教育振興会会長である中屋謙治いちき串木野市長があいさつに立たれ、「人生100年時代にあって、学び続ける社会の実現を目指し、参加しやすい魅力ある講座づくりに努めながら、学びを生かせる社会づくりを進め、学んだ知識を社会づくりに生かしていけるよう努めたい」と述べられました。

続いて、永山由高日置市長が祝辞を述べられ、「秋と言えばモミジ」と前置きをされ、唱歌「もみじ」の一節「松を彩るカエデやツタは山の麓の裾模様」を例えに「この歌詞は人生を乗り越えた先輩方を歌っていて、松の根元にはカエデやツタの落ち葉が重なり合って、地域の学び合いの姿を伝えている」と話され、「参加者の皆さんが、生涯学習を通して地域文化の発展のために尽力されていることに敬意を表したい」と結ばれました。

続いて、地区社会教育振興会表彰が6個人と2団体に、日本PTA全国協議会会長表彰が2個人に、九州ブロックPTA協議会表彰が1個人に、県文化財功労者表彰が1個人に授与されました。さらに、日置市社会教育表彰が12人の個人と2団体に授与されました。

学習成果発表では、4つの団体が舞台上で発表されました。初めに登壇した「舞YOU(ぶゆう)」は、コロナ禍で活動ができなかったが、今年から活動を再開したということで、「これから音頭」などの踊りを踊られました。2番目に出演した「レッツ・フラ」は有酸素運動や脳トレを免疫力アップのために行っているとのことで、優雅なフラダンスを披露し、3番目に出演した「大人のケンハモ教室」は、上白石萌音・萌歌の母親の指導で誕生したグループらしく、「涙のトッカータ」、中島みゆきの「時代」、ザ・ピーナッツの「恋のバカンス」を演奏し、最後に出演したコーラスグループの「コール・オリーブ」は「ヤシの実」、ダ・カーポの「野に咲く花のように」、カーペンターズの「sing a song」の3曲を披露してくれました。後半は、「音楽でつながるまちとまち～新しい文化のつくりかた～」をテーマとしたコントラバス奏者の森田良平氏による講演が行われました。

初めに進行役の生徒が英語で講師を紹介したところ、森田氏は素晴らしい英語のスピーチだったと賞賛し、話を始められまし

た。演題は「300年から400年前にクラシック音楽が芸術として伝わったことに由来し、生きているうちには難しいかもしれないが、芸術を通して文化を創る。文化がまちとまちとをつなぐ接着剤になればと思っている。その芸術が自分にとっては音楽であること」から設定したとのこと。

日置市と自分の繋がりについては「高校時代から美容師に髪を切ってもらっていた関係から、今でも年に5回から6回は髪を切りに妙円寺のカルマに来ている」と言われました。また、高校時代にソロで演奏をする機会を与えてもらったのも伊集院であり、伊集院高校の吹奏楽部や羽島小学校でも指導の経験があるそうです。

コントラバスとの出会いは高校時代で、音楽で身を立てようと思い、専門的に学んだとのことでした。交換留学生としてマイアミに1カ月間滞在している時に、大リーグで活躍していたイチロー選手の3000本安打記念セレモニーの話が舞い込んだようです。それから、大分県の竹田市にコンサートホールが完成し、プロデュースの話があったそうですが、コロナでキャンセルになり、竹田市の地域おこし協力隊として活動を行ってきたと話されました。

今後は、滝廉太郎の音楽を礎にクラシックの輪を広げる活動をしたいと語られました。昔から日本の音楽は「ヨ」と「ナ」、ドレミで言う「ファ」と「シ」抜き音階で作られていたが、滝廉太郎が初めてドレミの音階で作曲したとのこと、「荒城の月」をはじめ、23歳で没するまでに32曲を作曲していると言われました。廉太郎はバイオリン、クラリネット、尺八などもたしなみ、特に尺八は名手だったそうです。

今後の自分自身については、来年、ハンガリーやブルガリアに進出することになったと言われ、18歳の時にこの文化会館においてソロで演奏した「キーチョ」という曲を演奏されました。その後、「モンティオ・チャス」、五輪真由美の「恋人よ」、中島みゆきの「糸」などを演奏され、聴きながら贅沢な時間を過ごすことができました。大分割愛しておりますので、このことにつきましては、皆さんに講演要旨としてお配りしてあります。ご覧ください。

閉会のあいさつで奥教育長が「心が温かくなり、心豊かで充実した時間を過ごすことができた。これからも活力と生きがいのあるまちづくりに努めていく」と語られ、被表彰者に対してお礼と感謝のことばを、また、登壇した4団体の講座生へお礼を述べられました。最後に「音楽でつながるまちとまち、今日の講演でオーケストラを愛するパーセンテージが上がった。ジュニアオーケストラの定期演奏会も31回目を開催する」と伝えて締めくくられました。

12月17日は、ジュニアオーケストラの第31回定期演奏会を聴きに行きました。開演前にバイオリン奏者が「星に願いを」など数曲を披露してくれました。定期演奏会は「妙円寺詣りの歌」がオープニング演奏となり、団員の小中学生が進行を務めながら、第一部はポピュラーソングステージとして、「クリスマスソングメドレー」「宇宙戦艦ヤマト」、魔女の宅急便の挿入歌「海に見える街」、「スターウォーズのテーマ」、風と共に去りぬの「サラのテーマ」、「男はつらいよ」のテーマ曲、サウンドオブミュージックから「全ての山に登れ」が演奏されました。

クリスマスソングメドレーでは、管楽器のフルートとピッコロで「清しこの夜」、オーボエで「サンタクロースがやってくる」、クラリネットとファゴットで「まきびと羊」、トランペットで「クリッター・ワンダーランド」、トロンボーンで「赤鼻のトナカイ」、チューバで「もみの木」、打楽器のパーカッションで「We wish Merry Christmas」、弦楽器で「ジングルベル」などが演奏されました。

第二部との幕間に、団長である奥教育長のあいさつがあり、今年で31回を迎えた定期演奏会に去年より多くの方が来場していることへのお礼と、一度聴きに来るとまた来たくなる演奏会であり、「ジュニアオーケストラには年齢制限がなく、小学校3年生以上であれば誰でも参加できる」と勧誘の言葉もあり、団員も100人を超え、土曜日の夕方に練習をしていることや、「コロナが第5類になったことで演奏ができるようになり、今年は日吉地区の文化祭や市の総合文化祭でも演奏をした」と話されました。

第二部は、編成の違いを楽しむステージで、初めに弦楽編成の合奏で東日本大震災の復興ソングである「花は咲く」、続く吹奏

楽編成では、1960年代にテレビ放映されたイギリスの人形劇「サンダーバード」、U22オーケストラは「カナタハルカ」と「ジャンボリー・ミッキー」を演奏して、私達を楽しませてくれました。

第三部はクラシックステージで、弦楽器と木管楽器で歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」の間奏曲の演奏、金管楽器と打楽器で「雷鳴と電光」が演奏され、その後、全員で「ドナウ川のさざ波」と組曲「展覧会の絵」から「プロムナード」と「キーウの門」が演奏されました。

演奏会はこれで終了となりましたが、鳴りやまない拍手に応え、アンコール曲として「ラディスキー行進曲」が演奏され、聴衆の手拍子とともに大いに盛り上がりました。

19日は第5回日置市部活動在り方検討委員会に出席しました。これまでの話し合いの結果として、来年度から2つのモデル事業を実施することで合意しました。1つは拠点校方式として、専門的指導者のいる学校に、他の学校の生徒も集まって合同で練習をする方式です。その際、指導に当たる教師は兼職兼業の申請をすることで謝金を受け取れます。もう1つは外部委託型として、土日の指導及び大会引率を外部指導者に依頼する方式です。

来年度はこれまでの検討委員会を解散して、新たに協議会を設立し、8年度から全市において本格的な地域移行がスタートできるよう検討を重ねていくこととなります。なお、モデル事業実施に伴う指導者の謝金や生徒等の安全保険に係る経費は、市が負担をすると事務局長から報告がありました。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。福田委員、お願いいたします。

福田委員： 報告いたします。

11月23日に伊作流鏑馬(やぶさめ)の見学に行ってみりました。これまで何度も行っておりましたが、剣道大会と一緒でしたので、なかなかじっくり見ることができませんでした。今回、初めて流鏑馬を最初から最後までじっくりと見ることができました。

どんな事をしているのか全然分かりませんでした。馬と矢を射る方が鳥居に向かって「あげ馬」という式をしたり、馬が1回1回走る前に必ず地元の子供達がお清めで馬場を走りますが、



そういった事も初めて見ることができました。200mの馬場に3つの的があり、矢を射る度に大きな歓声が上がっておりました。私も初めて流鏑馬を見ましたが、感動しました。的は縁起物として持ち帰ることができますが、残念ながら私は手にすることができませんでした。

11月25日は日置地区生涯学習推進大会を見させていただきましたが、鶴木委員が述べられたので割愛いたします。以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 報告させていただきます。

11月26日は、4年振りに日吉地域町内一周駅伝が開催されました。今回から警察の指導で県道を走る場合は「安全上、各所にガードマンを配置しなさい」という指導があり、日吉地域スポーツ協会や教育委員会で種々検討した結果、県道を走らずに市道のみを走りながら、できるだけ町内を一周するように工夫され、それぞれのスタート場所を変えて、3ステージに決まりました。

第1ステージは旧扇尾小学校前をスタートし、3区間を6チームが走りゴール後、第2ステージは5丁田橋をスタートし、4区間に7チームが走り、第3ステージはウッドタウン前をスタートし、3区間に8チームが走り、ゴールの日吉支所で終了しました。4年振りの変則の町内一周駅伝になりましたが、6つのスポーツ体協の全チームの参加があり、初めての児童も多かったですが、地域の皆様の多くの声援を受けて、選手の皆さんは一生懸命に走りました。

閉会式では、1位から3位までの総合成績の表彰、3ステージの各1位チームの表彰、1区から10区までの区間賞の表彰、各チームの敢闘賞の表彰と、関係者のご尽力で事故もなく計時もスムーズにいき、日吉地域の活性化に繋がる素晴らしい駅伝大会になりました。

11月27日は、吹上高校令和5年度第2回学校関係者評価委員会に出席しました。

校長あいさつの後、発展途上国を訪れる「鹿児島県青少年国際協力体験事業」で、マレーシアに派遣された2年生の前野優夏さんの体験発表がありました。前野さんは海外に興味があり、異文

化に触れたい思いから応募し、県内から15名選抜されて、1週間マレーシアに滞在し、「マレーシアではイスラム教の戒律もあり、彼らの日常は私にとっては非日常であり、改めて考える機会となると同時に、何かしら国際協力に貢献したいと思いました。また、ホストファミリーでは、人と人との繋がりが濃く感じられました。ここでの経験は人生の糧となり一生の宝物になった」と話されました。

次に同校家庭クラブが、7月に宮崎市で開催された全国家庭クラブ研究発表会で全国3位受賞の報告がありました。コロナ禍での高齢者向け布マスクの100枚作成や、コースターの制作、車椅子をピッカピッカにした清掃活動などを発表されました。

次に、電気科や電子機械科、情報処理科の実習室を見学しましたが、どの教室も安全に作業ができるように整理整頓がなされていて安心しました。

学校からは現状と課題について報告があり、「平成26年度の生徒数354名が令和5年度は195名に減少し、毎年25名くらいずつ減少してきている」「推薦入学者も平成28年度までは2桁に近い人数がいたが、現在では1名程度である」「生徒減少による弊害として、スクールバスの廃止、求人があっても受験生がいない」「地元へ就職する生徒が少なくなり、地域の若者が減少する」等の課題解決には県全体で検討していく必要が迫っていると結ばれました。

進路指導については、「吹上高校では地元就職して地域の活性化に貢献できる人材を輩出できるように努力しています。今年度は求人数が2,834人で、これは県内では鹿児島工業に次いで2番目です。就職者は、管内が10名、県内の管外が11名、県外が13名の計34名でした。小規模校の特徴を生かし、一人一人の進路に対応したきめ細かい指導を全職員で取り組んでおり、今年も18年連続就職率100%を達成しました」とのことでした。

12月1日は、日吉学園前期課程の持久走大会を応援しました。晴天の下、1年生から6年生までそれぞれの学年で、速い子は記録に挑戦し必死に走り、苦手な子はコツコツと自分のペースで目標のゴールを目指す姿に、多くの保護者や他学年の児童の声援を受けて無事に完走しました。その結果、5つの新記録を達成しま

した。

12月9日は、日吉学園後期課程の持久走大会を応援しました。晴天の下、男子3kmに7年生から9年生までの34名が参加し、最後のゴールまで力走して全員が完走しました。男子の1位は9年生でした。女子は2kmに34名が挑戦し、ゴールを目指して全員完走しました。女子の1位は8年生でした。天気に恵まれ、コースの各所に保護者が立ち、安全に終わりました。講評で松尾学校長が「皆さんが心のたくましさを求めて走る姿に感動しました。山の頂上に登ったら、素晴らしい景色が見えます。人生は一步一步前に進むレースですので、今後もチャレンジしてください」と話されました。

12月10日から13日まで、東市来・日吉・吹上地域ふるさと学寮が開催され、10日の午後2時30分から入寮式が日吉地域のせつべとべ館で開催されましたので出席しました。3地域の6小学校・1中学校の小中学生38名が集合し、緊張の中、今日からの3泊4日の共同生活で、同じ釜のご飯を食べ、同じ風呂に入り、同じ部屋で寝る団体生活の中で「一人一人が自主性・協調性・忍耐力・社会性を培うとともに、家庭の大切さ、感謝や思いやりのある人間性の育成を図る」という趣旨を会得することを目指してほしいと切に願いました。

2日目の夜の活動では、2班に分かれて、4地域のALTが2人ずつで生の英語の会話やゲームを通して、班メンバーの子ども達が自主的に発言し、回答が合ったら皆で喜び合う姿に連帯感と充実感を感じました。

3日目の活動は人権・道徳研修で、講師は吹上支所の新屋社会教育指導員でした。まず紙に大きな○を書いて、その中に小さな○3個、その中に△、大きな○の外側に□と△を書いた後に見せ合おうと、それぞれが違う絵になっていました。「違っていいんですよ。それが個性ですよ。それぞれの考え方が違うことは大事なことですよ。違うことでいじめや差別をすることはよくないですよ」と言われました。最後に、教科書にも掲載されている「スイミー」の絵本を読まれました。全部赤い魚ばかりの仲間の中、1匹だけ黒いスイミーの生き方を通して、個性の大切さや生きる事の素晴らしさを与えてくれる素晴らしい絵本でした。



最終日4日目の13日18時から退寮式が開催され、奥教育長から修了証書が授与されました。4日間の学寮生活を無事終了し、仲間との絆も深まり、「来年も是非参加したい」と全員の手が挙がりました。最後に思い出を語った子が自席に戻る際、隣の子がそっと椅子を引いて座りやすいように気配りをしていました。学寮のテーマの「思いやり」をさりげなく実践してくれて、とても嬉しく思い褒めてあげると、とても喜んでいました。学寮を体験した子ども達のこれからの成長がとても楽しみです。これも一重に3支所の職員の皆様の昼夜を問わない優しく厳しい愛情のご指導の賜物です。ありがとうございました。

11月25日の生涯学習大会、12月17日のみんなの夢タイムトライアルランニング大会、ジュニアオーケストラについては鶴木委員、福田委員が詳しく述べられたので私からは割愛いたします。ありがとうございました。

奥教育長： ありがとうございました。それでは、私の方から2つだけご報告します。

11月26日、日吉の駅伝のあった日ですが、第12回ひおき文芸賞の表彰式が行われました。一般の方と子ども達ですが、10校の子ども達が応募して、表彰を受けておりました。詩、短歌、俳句に加えて、子ども達も薩摩狂句、川柳にも応募されて、入賞していたのが印象的でした。

南九州市の「青の俳句」という俳句のコンクールがありますが、これで今年は日吉学園と土橋小学校が学校賞を受賞しておりました。俳句に対して関心をもってくれていることを、大変嬉しく思いました。

もう1つは、鹿児島地区の子ども会大会が12月3日に東市来文化交流センターで開催されましたが、県の「家庭教育支援キャラバン『親子すくすくフェスタ』」を兼ねて同時開催ということでした。このキャラバンは県内の社会教育施設等からそれぞれの職員の方が来て、親子で楽しめる体験や物づくりのブースを用意していただきました。たくさん子ども達や親子で参加していただいて、大成功に終わったなと思うところです。先程からありますように駅伝や文化祭が、今年は、4年振りに予定通り開催できて、大変充実した1年だったと思います。

議会等もございましたが、今日の資料の中に一般質問については配布しておりますので、ご覧ください。

12月18日には、年に1回の教育委員会の外部評価委員会を開催しました。今年は10事業について評価をしていただきましたが、結果については議会等でも説明いたしますし、この会でも後日お示ししたいと思っております。来年まで継続します第3期教育振興基本計画につきましても、これらの評価も加味しながら第4期に繋げていきたいと思っております。以上です。

#### 4 議事

##### 【報告第20号 日置市高等学校運動部全国大会出場補助金交付要綱の一部改正について】

奥教育長： 報告第20号日置市高等学校運動部全国大会出場補助金交付要綱の一部改正について説明をお願いいたします。

前村補佐： 報告第20号日置市高等学校運動部全国大会出場補助金交付要綱の一部改正についてでございます。

日置市高等学校運動部全国大会出場補助金交付要綱(平成20年日置市教育委員会告示第22号)について、別紙のとおり改正し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

2ページの別紙をご覧ください。3ページまで変更となる条文等が記載されておりますが、主な改正内容は大きく2点でございます。

1点目は2ページの第2条です。第2条中、これまでは全国高等学校野球選手権大会と選抜高等学校野球大会及び全国高等学校サッカー選手権大会の3つの全国大会の補助に限られていたところを、全国高等学校駅伝競走大会を追加いたしました。

2点目は、下の第4条です。第4条中で金額について、今まで通り3つの大会に100万円までの補助をすることに加えまして、新たに全国高等学校駅伝競走大会に50万円までを補助することと改めたものでございます。

残りの条項等は文言等の整理をしたものでございます。

改正理由は、今回、城西高校の駅伝部が県の代表となり、駅伝も全国でテレビ放映をされるということで、日置市のPRに繋が

ることから、特別に50万円の補助を検討した結果、1部改正を行いました。以上です。

奥教育長： この金額については、前回の定例会で補正予算の説明をいたしました。現在、議会に上程中でございます。京都で行われる都大路に鹿児島城西高等学校が出場をすることへの補助でございます。

ただ今説明がありました日置市高等学校運動部全国大会出場補助金交付要綱の一部改正につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

内村委員。

内村委員： 100万円、50万円を補助して、全国のテレビ放映等で日置市をPRするということで、今まで野球、サッカーが行って、今回は駅伝が行きますが、過去には平成29年に城西高校のバレー部が春高バレーに出場しましたが、民放ですがテレビ放映がありました。

今後にも色々なスポーツ、ラグビーや剣道など、団体競技が全国大会に行く場合は、このように補助をしていくのでしょうか。

久木崎局長： ご質問のとおり、文化部、弓道、剣道などで、インターハイや全国大会に行っている部活動もあるようですが、市の方針としては「日置市をPRできるような大会に50万円、100万円を補助していきこう」という趣旨で、今回は整備をさせていただきました。

また、春高バレーもテレビ放映がありますが、そちらについては今後検討していきたいと考えております。議会でも「平等性に欠けるのではないか」という指摘も受けましたが、市の方針としては「日置市のPRに繋がるような大会に対して補助をしていきたい」と説明をしております。以上です。

内村委員： 分かりました。

奥教育長： 様々なご意見があろうかと思いますが、今後、色々な可能性が想定されますので、それを含めて継続して検討していくべきかと考えております。

他にございませんか。

鵜木委員。

鵜木委員： 補助金ですので、申請をして大会に出場して、実績報告があった後に渡されるお金なんではないでしょうか。

久木崎局長： 補助金については事前に概算払いを出しておいて、実績報告を

受けております。

鵜木委員： 概算払いをする場合は、どういう渡し方になるのでしょうか。

久木崎局長： 交付申請に基づいて、振り込みになります。

鵜木委員： 概算払いでも何でもいいですが、結局100万円と50万円は実績報告が出て初めて確定することになります。少なくとも野球部やサッカー部が大人数で行くと、100万円ではとても足りません。駅伝部にしても1泊2日か2泊3日程ですので、7人の選手プラス補欠まで入れると50万円ではとても足りないだろうと思います。

せっかく代表になって、学校はもちろん日置市もPRできるのであれば、その金額を後から渡すのではなく、出発式もしくは壮行会のような場に、市長もしくは教育長が直接持って行って激励をすると、受ける生徒達はより一層がんばる気持ちに繋がります。後から振り込まれて「補助金貰いましたよ」と言われても、自分もそうですが「そんなのがあったの。全然知らなかった」で終わります。

要綱がきちんとありますが、できればそういう形で先に激励費として直接学校等に持って行って、生徒達に手渡しするのがいいのではないかと思います。検討していただく必要があるかと思えます。

奥教育長： おっしゃるとおりでございます。私共もその議論をしましたが、今回の場合は要綱を改正しないといけないということと、議会を通さないといけないという状況があり、なかなかできませんでした。従って今後検討をする中で、ただ今の事も含めてどういう形がいいのか検討していくべきかなと思っております。ありがとうございました。

他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第20号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第20号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第20号 承認】

【報告第21号 令和5年度日置市一般会計補正予算(第7号)の市長への意見具申について】

奥教育長： 報告第21号令和5年度日置市一般会計補正予算(第7号)の市長への意見具申について説明をお願いいたします。久木崎局長。

久木崎局長： それでは報告第21号についてご説明をさせていただきます。報告第21号は令和5年度日置市一般会計補正予算(第7号)の市長への意見具申についてでございます。

令和5年度日置市一般会計補正予算(第7号)について意見を求められ、別紙のとおり回答し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

8ページをお開きください。教育費で516万5,000円を増額しまして、総額で23億6,699万2,000円とするものでございます。今回の補正内容は人事院勧告に準ずる人件費の補正で、今回、最終本会議にこの予算を上程するものでございます。内容につきましては職員の給料、職員手当、期末・勤勉手当、共済費について補正を計上するものでございます。説明は以上でございます。

奥教育長： ありがとうございます。ただ今説明がありました報告第21号令和5年度日置市一般会計補正予算(第7号)につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第21号は、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは報告第21号は、原案のとおり承認されました。

【報告 第21号 承認】

5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長



(3) 社会教育課長

(4) 各支所教育振興課長

ア 東市来支所教育振興課長

イ 日吉支所教育振興課長

ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会12月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員 申 新 辰 矢 

署名委員 鵜 木 親 志 